

救助用資機材等の整備の促進による消防団設備の強化(愛知県安城市 等)

効果概要: 令和5年梅雨前線による大雨及び台風第2号等において、消防団設備整備費補助金を活用して配備した資機材を活用することで、各地の消防団において災害対応能力の向上に寄与した。

府省庁名: 総務省消防庁

■ 実施主体: 愛知県安城市 等

■ 概要:

愛知県安城市では、大雨に伴う河川の増水があったところ、消防団設備整備費補助金を活用して配備した救命胴衣を用いることで、団員の安全を確保した上で、巡視活動を実施することができた。

その他、住民の救助活動においてトランシーバーを用いた団員間の即時的な状況報告(山口県山口市)や、倒木被害の現場においてチェーンソーを用いた撤去活動(和歌山県紀美野町)が実施されるなど、各地の消防団において災害対応能力の向上に寄与した。

■ 事業費: 令和4年度 約7.5億円
(うち5か年加速化対策約2.5億円)

■ 補助対象事業者:
都道府県(消防学校で使用するものに限る。)
市町村(一部事務組合及び広域連合を含む。)

■ 補助金の趣旨・発揮される効果:

災害時における消防団のより効果的な救助活動を図るため、消防団への救助用資機材等の整備を促進することを目的。近年の災害頻発、3か年緊急対策の実績を踏まえ、5か年加速化対策においても、大規模災害に対応できるよう支援。



配備した救命胴衣

愛知県安城市提供

補助対象資機材等(例)

